☆学生協だより「おあしす OASIS」No.253　2017.5月号より

南極クラス

子どもたちに夢と希望を届ける出前授業
— Antarctic class —

＼ 2017年3月10日（金）本城小学校 ／

3月10日（金）の5・6校時に、3～6年生を対象にした「南極クラス」を行いました。「南極クラス」のねらいをこれまでに学習してきた理科や社会、総合的な学習の時間などの集大成を図るものとして位置付けました。

南極観測隊の経験がある堀川さんのお話は、子どもの知的好奇心をゆさぶるような内容が多く、活動の時間いっぱい楽しみや喜びにあふれていました。また、南極観測隊の防寒着を着たり、ブリザードの疑似体験を行ったりする活動も貴重な体験でした。

南極の自然や地理、共同生活における生き方、自分の将来の夢への実現など、子どもにとって学ぶべきことが多々ありました。今の自分自身を見つめ直したり、自分自身の将来の生き方を考えたりするようなキャリア教育の一面も意義深いと思いました。

最後になりましたが、南極の自然を守ることや地球環境を守ることについては、南極の氷が水に溶ける音を聴く体験活動が大きな役割を果たしていました。後日の日記にも、子どもが「南極の氷を溶かしてはいけない」という表現を残してくれていました。

たくさんの学びを本当にありがとうございました。

串間市立本城小学校　田脇　幸夫　先生

H29.5.26.(金)

海きれいにした

本城小3年　鬼塚　陽尚

わたしは、下干野はまに、はまそうじに行きました。なぜはまそうじがあるかというと、夏に海がめがたまごをうみに来るからです。なので、こがめがごみにひっかからないようにするために、海のそうじに行きました。

まずぐん手とビニールとタオルをもらいました。そしてはまにおりて、さっそく木をいっぱいひろいました。大きい木とか小さい木とかがいっぱいありました。本じょう小の人もいっぱいいました。こうちょう先生とかきょうどう先生とかがいました。でもしらない人がいっぱいいました。

つかれたけど楽しかったです。そしてさいごにおかしをもらって食べました。おいしかったです。またはまそうじに行きたいです。（串間市）

若い目 NIE 教育に新聞を

第3種郵便物認可　H29.5.20(土)

串間・ジュニアレスリング

「グリーンホース」活躍

九州大会メダル9個　全国向け意気込む

今年で設立6年目を迎える串間市のジュニアレスリングチーム「くしまグリーンホース」（鈴木博也代表、16人）が、大会で好成績を収めている。鹿児島県最多となる9個のメダルを獲得。選手たちは7月に開かれる全国大会での活躍に向け、練習に励んでいる。

大会で好成績を収めているくしまグリーンホースのメンバー

4月下旬に開催された同選手権は九州の幼年から中学生まで約350人が参加。チームからは小学生以上の10人が出場し2人が優勝、4人が準優勝、3人が3位入賞を果たした。

幼少期から競技に親しんでもらおうとチームは2012年5月に設立。県の強化推進校に指定されている福島高レスリング部の道場で同部員の指導を受けながら練習している。週3回の練習に加え、月1回は県内外ジュニアチームとの合同練習を行い、着実に力を付けてきた。

同選手権で優勝した本城小2年の井黒寛太郎君(7)は「決勝戦は相手にタックルをガードされたけど手を放さず倒すことができた。大きくなったら五輪選手になれるよう練習を頑張りたい」と笑顔。

準優勝だった福島小3年の川崎堅尚君(9)は「守りに隙があり、あと一つ勝てず悔しかった。全国大会では自分から攻めて1位になりたい」と意気込む。

鈴木代表は「全国大会に出場できるまでチームのレベルが上がってきた。選手たちに自信を付けさせ、試合でしっかりと練習の成果を発揮できるようサポートしていく。全国大会でもメダルを持って帰りたい」と話している。

（前田潤一郎）

H29.6.7(水)　宮日掲載

新鮮キュウリ取れた

串間 園児らハウスで収穫

ハウス内でキュウリを収穫する子どもたち

串間市の本城小（矢野浩子校長、58人）5年生15人と上篠原保育園（溝下真弓園長、26人）園児16人が2日、地元農家のビニールハウスでキュウリの収穫体験を行った。児童が園児を手助けしながら新鮮なキュウリを摘み取り、交流を深めた。

同市本城の本田敦朗さん(62)の協力で十数年前から実施。10アールのハウスを開放した。児童と園児は2人一組になり、大きく太ったキュウリを次々と収穫。児童たちは園児の手が届かないキュウリを取りやすい高さに持ってきて摘み取らせた。

体験後は本田さんが用意した浅漬けを試食。児童たちは「おいしい」と歓声を上げて頬張っていた。収穫したキュウリは地元の郵便局や市役所本城支所などにも届けた。

田村彩乃さん(10)は「とげが指に刺さって痛かったけどキュウリちぎりは楽しい」。山崎章大君(11)は「園児たちに優しく教えることができた。浅漬けもおいしくてびっくり」と笑顔で話した。

（前田潤一郎）